

## ハンドマイク宣伝例【北朝鮮核実験——今こそ米朝「直接対話」へ舵を切れ】

2017年9月4日

道常任委員会

みなさんこんにちは

日本共産党の〇〇です。この場をお借りして、日本共産党の訴えをさせていただきます。しばらくの間、ご協力をお願いいたします。

みなさん

9月3日、北朝鮮は昨年9月以来の核実験を強行しました。これまでにない大きな揺れあり、北朝鮮は「大陸間弾道ミサイルに搭載できる水素爆弾の実験を成功させた」と主張しています。北朝鮮の核実験は、先月29日などに行われてきたミサイル実験とともに、世界の平和と安全を脅かすものです。

日本共産党の志位委員長は4日、談話を発表しました。北朝鮮の核実験は、国連安保理決議や日朝平壤（ピョンヤン）宣言などに違反する暴挙です。さらに、核兵器禁止条約を通じて「核兵器のない世界」を求める世界の国々・人々の願いに逆らうものです。日本共産党は、この核実験に厳しく抗議し、軍事的な挑発を中止するよう、厳重に求めます。また、アメリカと北朝鮮の緊張が高まれば、たとえ両政府には本当に武力行使するつもりがなくても、間違つて軍事衝突が起きてしまう恐れがあります。万が一そうなれば、米軍基地のある日本が戦闘に巻き込まれることは明らかです。軍事衝突は絶対に回避すべきです。日本共産党は、アメリカと北朝鮮に、「直接対話」に踏み出すよう、重ねて呼びかけます。そして日本政府に対しても、「今こそ対話に踏み切るべきだ」とアメリカ政府に訴えるよう、強く要求します。

みなさん

いま世界は、対話による解決を求めています。アメリカ政府はこれまで、北朝鮮の核廃棄を対話の条件にしましたが、その後「軍事的挑発をやめれば対話する」と態度を和らげています。韓国の文（ムン）大統領や、ロシアと中国も、対話と交渉を通じた解決を訴えています。

ところが、みなさん。日本政府だけが、「対話のための対話は意味がない」との決まり文句で、直接対話を頭ごなしに否定しています。アメリカでさえ対話を追求しているのに、平和憲法を持つ日本が対話を否定するなどというのは、あまりにも異常なことではないでしょうか。

みなさん。軍事衝突を本当に避けようとするには、「圧力一辺倒」に凝り固まつて、「対話など意味がない」と繰り返すのではなく、まずは話し合いを持つことではないでしょうか。対話は、けつして相手の言いなりになることではありません。アメリカ国内でも、元国防長官たちが「制裁だけで問題を解決することはできない」、話し合いこそがむしろ、「唯一の現実的な選択肢」と訴えています。安倍首相が本気で国民の命を大切に思うならば、「まずは対話をすべきだ」と訴えることが、当然とるべき政策ではないでしょうか。日本共産党は、アメリカと北朝鮮の直接対話に向けて努力をするよう、日本政府に強く訴えます。

みなさん

日本共産党は8月12日にも志位委員長が声明を発表し、北朝鮮の軍事的な挑発行為の中止と、アメリカと北朝鮮が無条件で直接対話をする事、それを日本政府が強く後押しすることを、要求しました。武力行使は絶対にしてはなりません。安倍政権は、軍事的対応をおおるような態度をただちに止め、平和的・外交的解決のために、両国の直接対話を実現させるよう、全力を尽くすべきです。

日本共産党の発行する「しんぶん赤旗」は、日刊紙はひと月3497円、日曜版は823円です。「しんぶん赤旗」の購読もお願い申し上げます、この場での訴えとさせていただきます。

ご清聴ありがとうございます。